

## 令和3年度 東京都立品川特別支援学校 学校経営報告

令和4年3月31日 校長

### 1 今年度の取り組み目標と具体的方策に関する結果

◎：達成    ○：ほぼ達成    ▲：未達成    -：コロナ禍のため未実施

#### (1) 11年目を迎え、新たな目標を目指した品川の教育の改善と充実

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	創立十周年記念式典委員会により、式典の計画・実施・評価	進捗状況を確認 (5回)	◎：11月11日式典実施
②	オリンピック・パラリンピック教育、スポーツ教育等の推進(育成の重点5つの資質を意識した取り組みの実施)	全授業で35コマ程度、	◎：世界プロジェクト実施
③	日本の伝統文化、芸術教育(音楽鑑賞会、アートプロジェクト等)の推進	アートプロジェクト展に出品3点以上	◎：39点出品、音楽鑑賞会実施
④	外部専門員、デジタルサポーターを活用した授業改善とフィードバックの推進	年30回以上	◎：31回
⑤	ホームページの充実による情報発信の推進	年間80回以上	◎：88回
⑥	学校だよりの発行及び地域・学校運営連絡協議会委員等への学校だよりの配布	年11回以上	◎：11回
⑦	オンラインで学習できるシステム・環境を確立し、配信できる家庭で活用できる配信可能な映像を通年で蓄積する	12月まで	▲：Teams内教材保存場所を作成
⑧	効率的な予算執行を行い、学習環境の整備を進めるため、センター執行率の向上を図る	60%以上	◎：73.3%

#### (2) コロナ禍による新たな教育環境の改善

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	教材・教具のデジタル化を図り、サーバー内に集積し、共有ができるようにする	10月末まで	○：ホルダーを作成
②	現体物の教材・教具を開発・作成し共有化を促進する。	通年	◎：夏季休業中に教材購入日を設定
③	学習支援クラウドサービスを活用した教育活動の推進に向け、全教員のTeamsアカウントの登録	7月まで	○：11月登録終了
④	教材等の整理・整頓日を設定し、活用環境の充実を図る	学期末に各1回以上	◎：各学期末に実施
⑤	新型コロナウイルス対応を踏まえた学校行事等の精選(中止、延期等)	通年	◎：感染状況に応じ適切に変更・実施
⑥	新型コロナウイルス感染防止対策の徹底(検温、飛沫防止対策、消毒等)	通年	◎：サーキュレーター、CO2測定器の設置等

(3) 専門性の向上を目指した新たな研究・研修活動の改善と充実

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	学習指導要領の理解とそれに基づく授業づくり・改善のための研究 活動年間計画策定	4月	◎：計画を策定
②	アセスメントに基づく個別指導計画の共同作成と共同評価	4月、9月、2月	◎：太田ステージア セスメントの実施
③	外部専門員による発達、言語、行動等の指導及び情報教育への支援・ 助言	年150回	◎：14名の外部専 門員、975.5時 間
④	授業アドバイザーによる授業改善に向けた指導・助言	若手教員：指導 1回以上	◎：被指導者に好 評、授業改善のきっ かけ
⑤	自閉症学級の授業改善に向けた指導・助言	指導10回以上	◎：通年に渡り実施 改善有
⑥	指導技法を身に付ける選択研修会を学区域の特別支援学級との合 同研修会として実施	5講座以上の実 施（教職経験1 0年未満2回以 上、他は3回以 上参加）	◎：進路先見学を含 め7講座実施
⑦	学習指導要領の読み込みワークグループによる研究成果の発表	2月（全グルー プ）	◎：2月実施
⑧	品川の研究・研修活動の理解を深めるために、研究・研修だよりを 発行する	年3回	◎：3回発行

(4) 本校の特色を生かした読書活動及び言語活動の充実

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	読書指導や図書室等の活用推進のための教員研修会の実施	年1回以上	◎；8月実施
②	保護者対象の読書啓発講習会を実施	年1回以上	—
③	図書の購入希望調査（年1回以上）を行い、新しい図書を購入し蔵 書の充実	年50冊以上	◎：139冊
④	読書月間と定め、読書意欲を促進する	10月、2月	◎：10月、2月実 施
⑤	読み聞かせ会の実施	年3回以上	◎：3回実施
⑥	デジタル図書の活用に向けた整備を進める	10月末	○：検討を実施

(5) ライフ・ワーク・バランスによる職場環境の改善

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	週ごとの指導計画を活用し、自発的に定時退勤日を設定し実施する	週1回以上	◎：ノー残業ディ7 0日
②	職場環境を改善するために整理・整頓日の設定	学期に2日以上	◎：各学期末に実施

③	整理・整頓を普段より心がけるとともに、環境教育の意識を高めるため紙ごみの減量を図る	(通年)	○:企画調整会議へ ーパーレス化
④	事務の効率化を図るために、デジタル化を図り、特別使用教室の貸出簿をタイムズ内で処理する	一学期に試行、 二学期より本格 実施	◎:TAIMS 内に移行
⑤	個人情報管理の徹底。紛失事故ゼロ	通年	◎:0件

(6) 将来を見据えたキャリア教育の改善・充実

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	キャリア教育における学級指導や授業での役割活動・作業活動、作業学習での活動、働く場所の見学・感染予防対策をして就業体験等の実施	小学部5年～中 学部3年、各1 回以上	◎:各学年で実施
②	中学部3年による職業体験の実施	二学期	◎:キリンビバレッ ジ
③	地域と連携した地域清掃等の継続実施	年2回	▲:コロナのため校 内での清掃体験を 実施
④	教員・保護者対象の事業所見学会又は講演会等の実施	年1回	◎:企業の見学を実 施
⑤	ビルメンテナンス協会と連携した小学部での清掃教室の実施による意識啓発	年1回	◎:6年生が実施
⑥	進学先を見通した中学部3年保護者へ高等部説明会への参加推進と教員の上級校説明会の参加	港特支・青鳥特 支・田園調布特 支	◎:中3保護者に積 極的に伝達。全保護 者出席

(7) 健康づくりを推進する保健指導と食育の改善・充実

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	基礎体力づくり等の継続的な実施(毎日)と成果の発表	体育発表会5 月・持久走記録 会2月	◎:毎朝の運動、身 体づくりを実施
②	医療的ケア安全委員会の実施	委員会年5回以 上	◎:9回実施
③	食育に関する指導等の実施	随時	◎:9回実施
④	医療的ケアにおける支援や食育について集積した業務等をミニ講座等で発表し、全校に周知・還元する	年1回	◎:2回実施
⑤	摂食指導については、夏季休業中に外部専門家による研修会を開催し、指導の基本を学ぶ	7月	◎:7月に実施

(8) 自立を目指した生活指導（通学指導）と、地域と連携した防災教育の改善・充実

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	日常的な避難訓練、安全指導の実施	年11回以上	◎：11回実施
②	防災対策の一環として、地域と連携した福祉避難所の設営に関する研修・訓練の実施	8月	◎：8月実施
③	警察・消防署と連携した交通安全教室、セーフティ教室そして不審者対応訓練の実施	年3回以上	▲：コロナのため1回中止、2回実施
④	ヒヤリハットの迅速な報告と事例の全体共有による改善策の提示	通年	◎実施
⑤	高等部進学・社会自立に向けた一人通学への取り組みの推進	年間20名以上	◎：段階表の作成。22名
⑥	体罰やいじめ根絶・自殺予防教育に関する情報収集会議の実施	年30回以上	◎：毎企画調整会議後に実施

(9) 地域と連携・協働したセンター的機能の改善・充実

番号	取組目標と具体的方策	数値目標等	結果
①	感染予防対策をして交流校との交流活動の実施	通常交流・連合運動会参加等、学期1回以上	○：コロナにより中止有り。3件の実施
②	学校間交流や副籍事業等に関する連絡会等の実施	1回以上	◎：各区1回、合同1回
③	特別支援教育コーディネーター等による小学校等への巡回・電話相談等の実施	200件	◎：205件
④	就学前施設（品川児童学園、目黒すすくのびのび園、大田わかばの家）等との連携	新入生全員	—
⑤	地域等への特別支援教育の理解推進	理解推進事業フェスタへの展示参加等	◎：コロナのためデーター提出
⑥	地域の相談機関と協力・連携（子ども家庭支援センター、児童相談所、各区福祉課等）を行い、支援会議を充実させ、児童・生徒の家庭生活・地域生活の充実を図る	年10回以上	◎：品川区支援会議4件、目黒区5件
⑦	家庭等での虐待等防止や安定した生活を図る一環として、情報交換のための校内支援会議等を随時行う	年20回以上	◎：44回

2 本年度のまとめと令和4年度に向けた方針

(1) 本年度のまとめ

○新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた教育活動が変更により、制約を受けると共に、学校経営計画で掲げた取り組みも、一部中止や縮小となった。主な取組項目57のうち、コロナのために実施できなかった項目は2項目であった。「達成」、「ほぼ達成」の割合は94.5%であった。（コロナのため実施できなかった項目を除く）

○コロナ禍による新たな教育環境の改善において、タブレット端末の活用については、家庭環境での接続の確認はでき、長期欠席者の学習につなげることはできたが、活用についての共通理解と、教材の集約等が遅れ、第6波時での適切な使用ができなかった。その後は、家庭からの希望に応じて、活用する体制を整えた。今後はオン

ライン授業も含めた児童・生徒の多様な学び方（指導の仕方）について組織的に対応することが求められている。

○働き方改革の推進においては、平均超過勤務時間は、約22.9時間/月ではあるが、毎月約10%の職員が、25時間/月を超えていることから、業務の効率化・平準化をより一層図る必要がある。

○児童・生徒数の増加により、教室不足が続いている。校内施設の効率的な活用が必要であり、一層の校内環境整備、不要物の廃棄が課題である

○コロナの影響で、地域と連携した活動が中止になり、実施しにくい環境になってしまった。近隣の商店街、自治会等の恵まれた環境を生かし、地域と連携したキャリア教育を推進することが課題である。

## （2） 令和4年度の方針

以下の4点を重点として、教育活動等の改善・充実を図っていく。

ア 新学習指導要領に基づく新たな教育課程（教科指導の充実）の実施及び東京都教育委員会の施策の具現化に資する教材・教具等の充実

- ・研究活動と連携した12年間を見通した年間指導計画の充実
- ・教科会組織の充実
- ・自立活動の充実（学習指導要領・同解説の理解と実践）

イ 小学部から高等部までの12年間を見通したキャリア教育の充実

- ・地域清掃等の社会貢献活動の実施、作業学習の充実、就業体験活動の実施
- ・地域資源を活用した学習活動の推進

ウ GIGA スクール構想に伴う、多様な学びの充実の一層の推進

- ・日常の学習活動でのタブレット端末活用の推進
- ・自宅待機者や長期欠席者への学習支援の充実
- ・タブレット用教材の開発の推進（デジタルサポーターの一層の活用）

エ 共生社会の実現に向けた交流教育の推進

- ・オンラインと実際の交流のハイブリット型交流の推進
- ・学校間交流、個々の直接交流の推進（実施回数をコロナ前の状況に近づける）